

令和 3 年度府中市環境審議会
第 4 回生物多様性地域戦略部会報告

1 日時 令和 4 年 3 月 1 8 日水曜日 午後 6 時 0 0 分～午後 7 時 3 0 分

2 会場 府中市役所北庁舎 3 階第 5 会議室

3 出席委員

金子部会長、吉川委員、金本委員、高野委員、江島委員、山田委員、青山委員、
栗原委員、吉武委員

4 議題

- (1) 次期環境基本計画の基本方針 2 の施策体系（基本施策）について
- (2) 次期環境基本計画の基本方針 2 の構成（案）について

5 議事内容

- (1) 次期環境基本計画の基本方針 2 の施策体系（基本施策）について

ア 内容

前回部会及び部会後の書面による意見照会によりいただいたご意見を踏まえて修正した施策体系案について

イ 主なご意見と事務局対応

No	主なご意見	事務局対応
1	基本施策「自然環境保全の普及啓発」については、生物多様性を強調し、「生物多様性の理解・浸透と啓発」としてはどうか	基本方針 2 が自然環境分野全般の施策を包含するなかで、生物多様性に直結しない施策も含まれると考え、同様のタイトルを併記したが、表現については再検討する。
2	基本施策「自然環境の保全と活用」について、地域戦略としての標題には「府中市固有の生態系と生息環境の保護と回復」として活用や利用が含まれていないが、多様な取組が「利用」に該当すると思われるので、本基本施策の具体策では「利用」に関する施策も検討して欲しい。	検討する。
3	「主流化」という言葉はなじみが薄く、一般の方向けに他に良い表現があれば検討して欲しい。	主流化は生物多様性に関する要点を端的に表現した言葉であり、説明を加え、一般の方にも理解いただくことを考えているが、他の表現についても引き続き検討する。

(2) 次期環境基本計画の基本方針２の構成（案）について

ア 内容

次期生物多様性地域戦略として策定する基本方針２の「施策の展開」の必要な構成について

イ 主なご意見と事務局対応

No	主なご意見	事務局対応
1	SDGsマークについては、市民が各マークの意味が分かるように説明を掲載すべきである。	対応する。
2	基本施策として、市役所自身が土地利用や都市計画などにおいて生物多様性保全に取り組んでいくというものを設定すべきである。	市が率先して取り組むという姿勢は間違いなく盛り込む必要があり、この点については「主流化」の一つとして、基本施策「生物多様性の価値の浸透と社会における主流化」の中で具体策を示していきたいと考えている。
3	「行動指針」を市民、事業者の２点で整理しているが、市やNPO、学校、団体など、市内の構成団体全体を網羅するものとするべきではないか。	多様な主体が関わるべき問題であると認識しており、各主体にどのように取り組んでいただきたいかについては示していきたい。
4	利用するということを考えないと市民は生物多様性の問題をじぶんごととして捉えられないと思う。利用の部分に関する施策グループを基本施策「自然環境の保全と活用」に設定してはどうか。	まずは保全ということで原案のとおりとしたが、ご指摘のとおり利用・活用をしていくことで保全につながるという部分もあり、そのあたりをどう盛り込んでいくか再検討する。
5	基本計画の理念を市民に行き届けるには具体策が非常に大事になってくる。	計画にうたう理念を具現化していかなければいけないと考えており、そこにつながる施策を検討していきたい。
6	目標について、今は「現状値」と「目標値」の２パターンとなっているが、項目により短期、中期、長期といった段階で目標像を示していくことが有効ではないか。	検討する。

以上